

リズムマシンの基礎知識

リズムマシンとは？

その名のとおり「リズムの打込み&演奏をするための専用音源」です。

主にエレクトリック系のドラムの打込みに使用され、とくにハウスやテクノ、トランスなどのダンスミュージックでは欠かせない存在となっています。

内蔵のステップシーケンサーを使ってビートを組むことができ、DAWと同期させることもできます。

もちろん、MIDIによるDAWからの制御も可能です。

リズムマシンとは？

リズムマシンは、大きく分けて以下の3つに分類されます。

- ドラムシンセ（TR-909、electrubeなど）
- ドラムサンプラー（MPC、electrube samplerなど）
- ハイブリッド型（最新のTRシリーズ、ソフトシンセなど）

ドラムシンセ

ドラムシンセは、内部にシンセサイザー機能を持つリズムマシンです。

通常のシンセサイザー同様、
ドラムの音を一から生成して鳴らすことができます。

有名どころは、Rolandさんの「TRシリーズ」です。
中でも、「TR-808」「TR-909」の2種類はいまだに愛用者も多く、
数多くのドラム音源にもその音色が収録されています。

昨今では、その後継機種である「TR-8S」「TR-6S」などが販売されています。

ドラムサンプラー

ドラムサンプラーはサンプリング(録音)した音素材を呼び出して使います。

生ドラムの音色はもちろん、往年のドラムシンセのサウンドをサンプリングしたものや、レコードなどから切り出した音素材など、多様なドラムサウンドを用いることができ、加工も自由自在で重宝します。

有名どころは、AKAIさんの「MPCシリーズ」ですね。

単なるサンプラーではなく、ウワモノまで含めた楽曲全体をこれ一台で作ることができたことから「Music Production Center」を略して「MPC」と名付けられました。

現在も、「MPC One」「MPC Live」などの現行機種が販売されています。

ハイブリッド型

ドラムシンセとドラムサンプラー双方の機能をあわせ持つタイプです。

サウンドをシンセサイズすることもサンプリング音を鳴らすことも自由自在。より一層自由度の高いビートメイクが可能です。

Native Instrumentsさんの「MASCHINE」が有名で、ドラムシンセとサンプラー双方の機能を持ち合わせており、内部に3rd Party製のプラグインも読み込むことも可能です。

これ1セットで楽曲を丸々仕上げるのが可能なくらい高機能で、エレクトリック系ビートメイクを髓までしゃぶり尽くしたい方にオススメです。